

選抜者基本方針

患者・家族の立場に立って考えることができる思いやりと命に対する畏敬の念をもって医療にあたることができる「人間性豊かで優れた医師の養成（学部基本理念の一つ）」を目的とすることから、入学者の受け入れにおいては、学力試験の結果を尊重することはもとより、将来医師となるべき資質、能力をも含め、総合的な判定による入学者の選抜を基本方針としています。

求める学生像

- 医学の習得に必要な数学・理科・英語の基礎学力に加え、論理的に思考・判断し、表現する能力を持つ学生
- 知的探究心を持ち、自己学習と自己研鑽に努めることができる学生
- 医学並びに医療行為を通じて社会的、国際的に貢献したいと考える学生
- 患者・家族の立場に立って物事を考え、行動できる学生
- 医師であることはもとより、一人の人間として相手に共感できる思いやりを持つ学生
- 社会常識や良識に基づいたコミュニケーション能力を持ち、良好な人間関係を構築できる学生